

三菱UFJフィナンシャル・グループ
MUFG通信

第9期中間期(平成25年4月1日～平成25年9月30日)



Quality for You

確かなクオリティを、明日へ。世界へ。



MUFG

証券コード：8306

株主の皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

私から、平成25年度中間期の業績および中期経営計画についてご説明いたします。



平成25年度中間期の業績

平成25年度中間期の連結純利益は、5,302億円と、期初の通期業績目標(7,600億円)対比69.7%の進捗となりました。

当社を取り巻く経営環境を振り返りますと、アベノミクスによる金融・財政政策の効果もあり、国内経済が回復基調となりました。これを受け、当社の業績は、個人部門、法人部門を中心に国内で堅調に推移しました。また、世界経済は、アジアの成長鈍化など不安定な局面がありましたが、国際部門の業績も順調に拡大しました。子会社別に見ますと、株式市場の回復の影響もあり、三菱UFJ証券ホールディングスの業績が好調に推移しました。中間期の業績を踏まえ、当社は通期の連結当期純利益目標を9,100億円へ上方修正しました。

貸出は、国内の資金需要の底打ちと、海外の堅調な資金需要に支えられ、平成25年3月比3.9兆円増加しました。預金は、個人や海外で増加し、4.4兆円の増加となりました。

財務の健全性の観点では、普通株式等Tier1比率が11.77%と十分な水準を維持しています。また、不良債権比率も1.57%と引き続き低い水準を保っています。

普通株式の配当については、中間配当を期初予想どおり7円、期末配当予想7円と合わせて年間14円とし、平成24年度比1円の増配を予定しています。

中期経営計画について

平成24年度にスタートした中期経営計画も後半に入りましたが、当社は今後も、計画の達成に向け国内外での挑戦を続けていきます。

国内では今後、政府による「日本再興戦略」が本格展開されますが、我々は、日本経済の再生に向け金融面からしっかりと貢献していきます。例えば、来年1月から始まるNISA(少額投資非課税制度)では、個人の皆さまの円滑な資産形成に向けてグループ総力を挙げて対応していきます。また、円滑な資金供給とM&Aのアドバイザリー業務などコンサルティング機能の強化により、企業の成長を積極的に支援していきます。

海外では、7月にタイの大手商業銀行であるアユタヤ銀行の過半数以上の株式取得を目指すことを発表しましたが、「アジアを代表する金融グループ」の実現に向け、同行をプラットフォームに今後もアジアにおけるサービスをさらに拡充していきます。また、米国においては、三菱東京UFJ銀行とユニオンバンクとの組織統合を進め、事業を強化していきます。

当社は、国際金融規制の強化や事業のグローバル化に伴う経営環境の変化に柔軟かつ適切に対応するため、組織体制の改革にも取り組んでいます。7月には社外の専門家や有識者で構成される、「リスク委員会」や「グローバル・アドバイザリーボード」(経営会議の諮問機関)を設立しましたが、今後も社外の独立した立場からの提言や助言を積極的に経営に取り入れ、ガバナンス(企業統治)の強化に努めていきます。

資本政策については、引き続き、「充実した自己資本を維持」しつつ、「収益力強化に向けた資本の活用」と「株主還元の一層の充実」を目指していきます。

MUFGは、「世界に選ばれる、信頼のグローバル金融グループ」を目指し、皆さまの期待や信頼にお応えしてまいりますので、今後とも一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成25年12月

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ
取締役社長

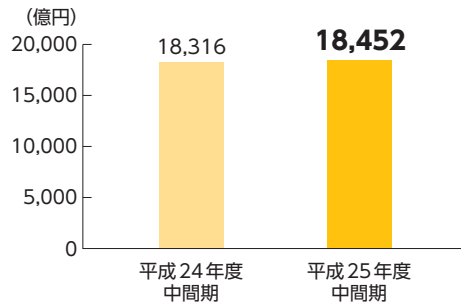
平野信行

平成25年度中間期の業績

✓ 決算のポイント

- 連結中間純利益は、期初通期業績目標7,600億円対比69.7%の5,302億円
- 貸出金は、前年度末比3.9兆円増加
預金は、4.4兆円増加
- 普通株式等Tier1比率は、11.77%

連結業務粗利益



資金利益は、海外貸出が順調に伸びたことに加えて為替の影響もあり、前年同期比323億円増加しました。信託報酬・役員取引等利益は、運用商品の販売やM&Aアドバイザー関連の手数料収入が好調に推移し996億円増加しました。特定取引利益・その他業務利益は、国債等債券関係損益の減少により1,184億円減少しましたが、同影響を除くと796億円の増加となりました。

■ 損益の状況 (連結)

● 連結業務粗利益 (信託勘定償却前)

資金利益	
信託報酬+役員取引等利益	
特定取引利益+その他業務利益	
うち国債等債券関係損益	
営業費 (△)	
連結業務純益 (一般貸倒引当金繰入前・信託勘定償却前)	
与信関係費用総額 (△は費用)	
株式等関係損益	
持分法による投資損益	
その他の臨時損益	
経常利益	
特別損益	
法人税等合計	
少数株主利益 (△)	
連結中間純利益	

(単位：億円)

平成24年度中間期 (平成24年4月～9月)	平成25年度中間期 (平成25年4月～9月)
18,316	18,452
8,762	9,086
5,184	6,181
4,368	3,184
2,752	770
10,144	11,202
8,171	7,250
△ 622	257
△ 1,735	434
274	686
△ 387	△ 124
5,700	8,504
△ 269	△ 277
1,947	2,121
578	803
2,904	5,302

営業費

円安の影響に加え、海外業務の拡大や国際金融規制への対応に関する費用の増加により、前年同期比1,058億円増加しました。

与信関係費用総額*

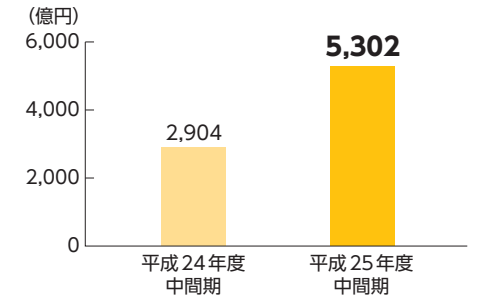
一般貸倒引当金の大幅な戻し入れなどにより、257億円の戻り益を計上しました。

* 与信関係費用(信託勘定)+一般貸倒引当金繰入額+与信関係費用(臨時損益)+償却債権取立益+貸倒引当金戻入益+偶発損失引当金戻入益(与信関連)

株式等関係損益

株式等償却の減少と株式等売却益の増加により、前年同期比2,170億円改善の434億円の利益となりました。

連結中間純利益

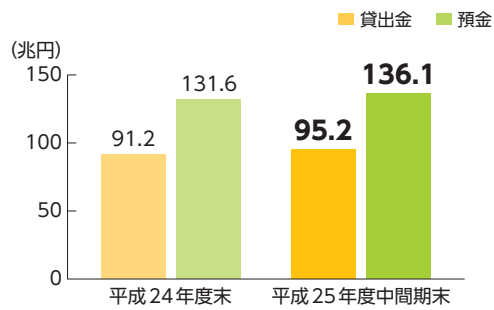


モルガン・スタンレーの好調な業績を反映し、持分法による投資損益が改善したほか、退職給付費用の減少によるその他臨時損益の改善もあり、連結中間純利益は、前年同期比2,397億円増加、期初通期目標(7,600億円)対比進捗率69.7%の5,302億円となりました。

(注) 業績説明に使用している計数は、各々単位未満を切り捨てて表示しています。従って、表中のある項目の計数と他の項目を加減計算した結果とが一致しないことや、説明文中の増減数値とグラフ・表中の計数を加減計算した結果とが一致しないことがあります。

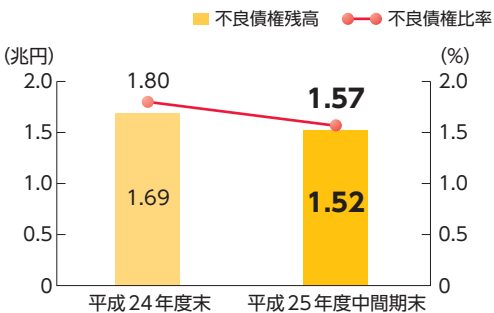
平成25年度中間期の業績

貸出金・預金



貸出金残高は、住宅ローンは減少したものの、国内法人貸出と海外貸出の増加に加え、為替の影響もあり、前年度末比3.9兆円の増加となりました。
預金は、個人および海外で増加し、4.4兆円の増加となりました。

不良債権残高・比率*



不良債権比率は1.57%と、前年度末比0.22ポイント低下しました。

* 三菱東京UFJ銀行と三菱UFJ信託銀行の2行合算+信託勘定

資産・負債の状況(連結)

資産の部合計
貸出金(銀行勘定)
有価証券
うち国債
負債の部合計
預金
純資産の部合計

不良債権の状況

不良債権(金融再生法開示債権)
不良債権比率

有価証券評価損益の状況(連結)

その他有価証券評価損益

自己資本の状況(連結)

普通株式等Tier1比率
Tier1比率
総自己資本比率
リスク・アセット

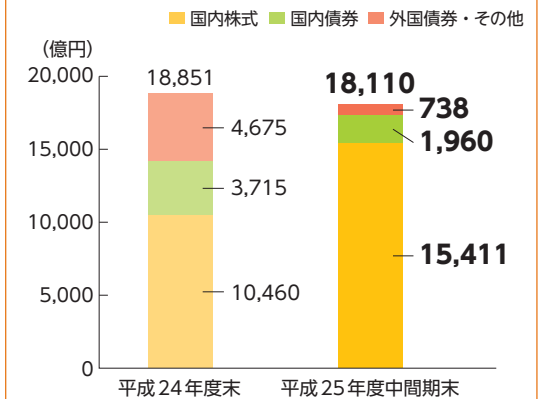
(単位: 億円)

	平成24年度末	平成25年度中間期末
資産の部合計	2,344,987	2,422,229
貸出金(銀行勘定)	912,995	952,452
有価証券	795,268	771,138
うち国債	487,079	412,701
負債の部合計	2,209,790	2,278,945
預金	1,316,970	1,361,283
純資産の部合計	135,196	143,283
不良債権(金融再生法開示債権)	16,968	15,217
不良債権比率	1.80%	1.57%
その他有価証券評価損益	18,851	18,110
普通株式等Tier1比率	11.70%	11.77%
Tier1比率	12.74%	13.12%
総自己資本比率	16.68%	16.84%
リスク・アセット	879,686	914,485

国債

国債保有残高は、前年度末比7.4兆円減少しました。引き続き、安定保有を原則としつつ、適切な金利リスクコントロールを行っていきます。

有価証券の含み損益



株式相場の上昇により、国内株式の評価損益が前年同期比4,950億円増加したものの、国債および外国債券の評価損も増加したため、全体で前年度末比741億円の減少となりました。

自己資本比率(バーゼルⅢ)

普通株式等Tier1比率*は11.77%と、十分な水準を確保しています。

* 普通株式等Tier1比率=中核的な自己資本(資本金・剰余金)÷リスク・アセット

MUFUGグループは、さまざまな金融分野に有力なグループ会社を有する総合金融グループです。「クローズアップMUFUG」では、こうしたグループ会社をシリーズでご紹介します。第五回は、じぶん銀行です。

■ じぶん銀行

Q. 会社概要・特長について教えてください。

A. じぶん銀行は、平成20年6月に三菱東京UFJ銀行とKDDIの共同出資により設立されたネット銀行*です。開業以来、「手のひらにある銀行」を基本理念に、三菱東京UFJ銀行のサービス力とKDDIの最先端の通信技術を融合させた、新しい金融サービスを提供しています。携帯電話やスマートフォンの機能を最大限活かした「便利」かつ「安全」なサービスが評価され、現在では、口座数156万件、預金残高5,000億円の規模となりました(平成25年9月30日時点)。



*実際の店舗を持たず、インターネットなどを活用してサービスを提供する銀行をいいます。

Q. 具体的な商品・サービスについて教えてください。

A. 円預金・外貨預金・お振込み・FX・住宅ローンなど幅広い商品やサービスを取り揃えています。ネット銀行ならではのメリットをお客さまに実感していただけるよう、金利や為替手数料の優遇キャンペーンを積極的に行っています。

また、カード型電子マネーの残高が確認できる「電子マネーリーダー」や、いつでも為替レートの値動きを画面で確認できる「為替レートウィジェット」といったスマートフォンの機能を活かした便利なサービスも提供しています。



Q. じぶん銀行で取引するにはどのような方法がありますか？

A. ご利用いただくには、携帯電話番号と携帯Eメールアドレスが必要です。パソコン、携帯電話、スマートフォン、または郵送でお申込みいただけます。スマートフォンの「クイック口座開設アプリ」を利用すれば、簡単(書類の郵送不要)かつスピーディーに口座開設できます。口座開設後は、パソコン、携帯電話、スマートフォン、テレフォンバンキングを経由し、残高照会や振込などが行えます。スマートフォンの「じぶん銀行アプリ」では、これらに加え、外貨預金などの取引も行えます。



Q. 三菱東京UFJ銀行と連携した商品・サービスはありますか？

A. 三菱東京UFJ銀行のインターネットバンキングを一緒にご利用いただくと、相互のスマートフォンやパソコン、携帯電話による振込手数料が無料となります。また、平成25年11月、両行で共同企画・開発した「三菱東京UFJネット住宅ローン[じぶん銀行専用]」の取り扱いを開始しました。パソコンやスマートフォン経由でお申し込みいただき、原則ご来店せずにご契約いただけます。また、ネット銀行ならではの金利優遇も行っています。今後も両行の強みを活かした商品・サービスの拡充に取り組んでいきます。

三菱東京UFJ銀行と一緒に使うと、もっと便利!

三菱東京UFJ銀行とじぶん銀行間の振込手数料は、なんと0円*!



*インターネットバンキング利用の場合

■ 企業プロフィール

会社名：株式会社じぶん銀行
 本社所在地：東京都新宿区西新宿6丁目8番1号 新宿オークタワー6階
 設立日：平成20年6月17日
 資本金：350億円
 従業員数：159人(平成25年9月30日現在)
 ホームページ：



QRコードの読み取り機能を搭載した端末でご利用いただけます。

1 三菱東京UFJ銀行、ATMサービスを改定

三菱東京UFJ銀行は、平成25年12月20日、ATMサービスを強化するとともに、提携先コンビニATM利用手数料やATM振込手数料を改定します。これまで、お客さまより通帳記帳などが可能で利便性の高い自行ATMのサービス拡充を望む声が多く寄せられていました。このようなご要望を踏まえ、今般、自行ATMの手数料無料の時間帯の拡大や営業時間の延長を行うこととなったものです。一部手数料の引き上げとなる項目もありますが、同行は今後も、お取引内容に応じて無料でご利用いただける優遇サービスを個人のお客さまに提供していきます。

改定項目	対象ATM	改定前	改定後
営業時間	自行ATM	各設置場所により異なる	7:00～24:00に延長*
ATM利用手数料	自行ATM	平日 8:45～18:00 無料 【上記以外：105円】	平日 8:45～21:00 無料 土日祝 8:45～21:00 無料 【上記以外：105円】
	提携先コンビニATM	平日 8:45～18:00 無料 【上記以外：105円】	平日 8:45～18:00 105円 【上記以外：210円】
振込手数料	自行キャッシュカード利用時 自行他店宛 (個人のお客さま)	・自行ATM ・提携先コンビニATM	無料
	現金利用時 自行同一支店・自行他店宛	自行ATM	3万円未満：105円 3万円以上：315円

* 施設都合等により一部ATMは除きます。

2 三菱東京UFJ銀行、ユニオンバンクとの個人向け業務における連携を強化

平成25年10月から、個人のお客さまに、ユニオンバンク(米国にある連結子会社)のサービスをより手軽にご利用いただけるようになりました。三菱東京UFJ銀行は、従来、お客さまのご要望に応じてユニオンバンクを紹介するのみでしたが、今般、ユニオンバンクと外国銀行代理業務契約を締結したことにより、お客さまへ口座開設のご案内ができるようになりました。

「渡米前に資金を米国に送金しておきたい」というお客さまや、「リスク分散のために米国にも預金をおいておきたい」というお客さまには、日本にいながらユニオンバンクの預金口座をご作成いただける「海外口座ご紹介サービス」をご案内していきます。今後も、三菱東京UFJ銀行の国際性を実感していただけるようなサービスの拡充に努めていきます。



3 トルコ三菱東京UFJ銀行、営業開始

平成25年11月、トルコ三菱東京UFJ銀行は、トルコ共和国最大の商業都市であるイスタンブールにて営業を開始しました。従来は、駐在員事務所として、同地において情報提供など日本企業のトルコ進出に関する支援を行ってききましたが、現地法人化により、大幅に業務範囲を拡大しました。今後は、決済サービスやご融資などの業務を中心に、お客さまの幅広いニーズによりスピーディーにお応えしていきます。

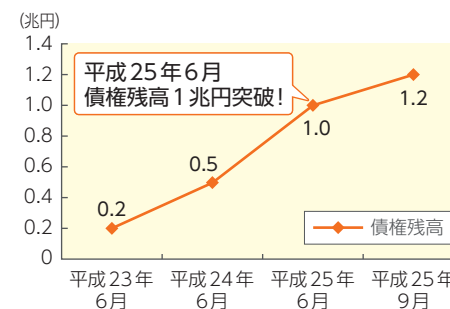
トルコ共和国は、欧州、アジア、中東、北アフリカの交差点に位置し、人口7,500万人、平均年齢30歳という強い購買力と若い労働力を背景に、安定的な成長が期待されている国です。これからも、MUFGのグローバルネットワークを活用し、日系企業を中心に同地で活動する多くの企業に、一層充実したサービスを提供していきます。



4 電子記録債権マーケットを牽引する「電手」の債権残高1兆円突破

平成25年6月、三菱東京UFJ銀行の独自サービス「電手」を利用した電子記録債権の残高が1兆円の大台を突破しました。電子記録債権とは、電子記録機関の記録原簿への電子記録によりその権利内容が定められる金銭債権で、これまで企業間取引に利用されてきた手形や売掛金に代わる新しい債権です。平成21年に国内初の電子記録債権利用サービスとして取扱を開始して以来、企業の決済事務の合理化や円滑な資金調達を可能にする手段として活用され、利用企業数は38,000社を超えるまでになりました(平成25年9月末)。

同行は今後も、さらなる拡大が期待される電子記録債権マーケットのリーディングバンクとして、業界の発展に貢献していきます。



MUFGグループは、地域・社会の一員として、社会全体の重要課題の解決に貢献したいと考え、行動しています。

今回は、「地球環境問題への対応」の一環として進めている「守ろう地球のたからもの」プロジェクトをご紹介します。

「守ろう地球のたからもの」

MUFGグループは、公益財団法人三菱UFJ環境財団、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟と共同で、自然環境や文化財を人類共通の「たからもの」として未来へ引き継いでいくため、環境教育プロジェクト「守ろう地球のたからもの」を推進しています。

■白神山地周辺での植樹・育樹

白神山地周辺では、平成20年から5年間をかけて、44ヘクタール(東京ドーム約10個分)に計10万本の植樹を行いました。平成25年からの5年間には、植えた木々の育樹を実施していきます。今年6・7月の訪問時には、植樹時には50cm程度だった木々が2m近くまで伸び、その周辺には背丈ほどの雑草が生い茂っていました。木々に日光が充分当たるよう、MUFG社員ボランティアと地元の方が(合計で約200名)、大きな鎌で雑草を刈りました。

■みどりの絵コンクール

「子どもたちに、自然に親しみ、自然の美しさ・大切さを知ってもらいたい」との願いから「みどりの絵コンクール」を実施しています。第38回となる今年は、2万8千点を超える素晴らしい作品が寄せられました。



MUFGグループの地域貢献活動(第5回)

広島

三菱東京UFJ銀行広島支店では、毎年、広島県や広島市と共同で熱気球搭乗体験イベントを開催し、地域の皆さまとともに空の遊覧を楽しんでいます。また、地域の活動にも積極的に協力しており、平成25年9月には地元の障がい者福祉センターが開催するヨット体験教室にボランティアとして参加しました。これからも、さまざまな形で地域社会への貢献に努めていきます。



MUFG・ユネスコ協会 東日本大震災復興育英基金

奨学金プログラム

大学1年生の奨学生OBからメッセージをいただきました。

高校3年生の11月からアルバイトを始めました。初めてお給料をいただいた時、お金を稼ぐということはずごく大変なことだと感じ、改めてお金の大切さがわかりました。現在は、あきらめかけていた大学にも通うことができます。大学生活は楽しいです。MUFG・ユネスコ協会さんの支援に感謝しています。これからの学生生活もしっかり頑張っていきます。

「CSRレポート2013」発行

平成25年9月、MUFGグループは、「CSRレポート2013」を発行しました。本誌を通じて、企業の社会的責任(CSR)活動の内容や課題を皆さまにご報告しています。同誌はMUFGのホームページに掲載しており、冊子版はホームページよりご請求いただけます。

CSRレポートのホームページ <http://www.mufg.jp/csr/csrreport/>

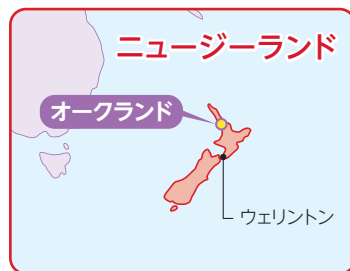


三菱東京UFJ銀行 オークランド支店

ニュージーランド オークランド

オークランドは、ニュージーランド最大の都市で、経済の中心地として発展してきました。海岸沿いに位置し、近くにはワイン産地として知られるワイヘキ島や、希少な野生生物が生息するティリティリ・マタンギ島など、50近い島々が点在しています。人口1人当たりのボートやヨットの保有数が世界一であることから、シティ・オブ・セイルズ(帆の街)と呼ばれています。

また、ニュージーランドの先住民マオリの文化は、いまでも受け継がれています。ニュージーランドのラグビーナショナルチーム「オールブラックス」が試合前に行う、戦いの舞「ハカ」が有名です。現在は、「戦い」ではなく「友好」や「敬意」を表す舞として、海外からの訪問者を歓迎する式典や結婚式など平和的な場面でも頻繁に披露されています。



拠点紹介

オークランド支店



現在のオークランド支店は、もともと昭和47年5月にウェリントン駐在員事務所として設立されました。その後、平成元年に経済の中心地であるオークランドに移転、現在では駐在員1名、現地スタッフ15名が勤務しています。

自然豊かなニュージーランドは、木材、水産、乳製品、食肉といった第1次産品およびその加工品の輸出を経済の大きな柱としており、同分野に関連した日系企業の進出も近年目立っています。また、多くの国と自由貿易連携協定を締結しており、TPP(環太平洋経済連携協定)にも早期より積極的に参加しています。平成25年7月の日本のTPP正式交渉参加を機にこれまで以上に対日輸出の拡大が期待されており、ニュージーランド唯一の日系銀行の支店として、今後も当地に進出されるお客さまのニーズに積極的にお応えしていきます。



現地レポート



スカイタワー

高さ328メートルの南半球で最も高いタワーで、オークランドを360度見渡すことができます。また、高さ192メートルから飛び降りるスカイジャンプなど、スリル満点のアトラクションも人気です。

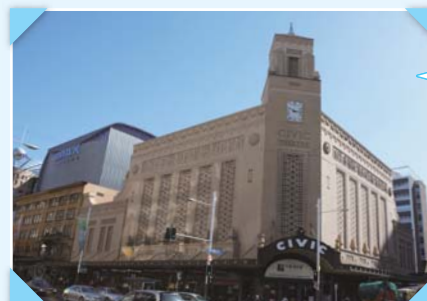
イーデン・パーク

街の中心に位置し、約6万人を収容できる国内最大のラグビースタジアムです。ラグビーは国技として親しまれており、オークランド市民は特に熱狂的なファンが多いと言われています。



オークランド・シビック・シアター

1929年にエンターテインメントの象徴としてオープンしたニュージーランド最大の映画館で、宮殿のような趣のある佇まいが特徴です。毎年開催される「ニュージーランド国際映画祭」の期間中は、多くの人々にぎわいます。



ハンギ料理

地面に穴を掘り、塩をまぶしたラム肉や牛肉とキャベツやジャガイモなどの野菜を焼石とともに埋め、蒸し焼きにする先住民マオリの伝統料理です。特別な祝いごとのときに振る舞われます。



MUFGからのお知らせ

MUFGでは、日頃ご支援いただいている株主さまを対象に、下記のとおりセミナーを開催いたします。なお、当社株式を長期に保有いただいている株主さまへの感謝として、ご応募いただいた方のうち、当社株式を5年超保有*の株主さまの当選確率を通常より2倍に優遇させていただきます。

*中間期末日および期末日の株主名簿に連続11回以上記載

1. 開催概要

募集対象者……平成25年9月末時点で当社株式をお持ちの株主さま
(同伴者1名さままで可)

参加費……無料

経済セミナー(東京・大阪・名古屋 - 午前の部、午後の部 2回開催 -)

開催場所 開催日 募集人数	【東京】 東京都千代田区	平成26年3月13日(木)	各回300名
	【大阪】 大阪府大阪市中央区	平成26年3月17日(月) 平成26年3月18日(火)	各回100名
	【名古屋】 愛知県名古屋市中区 各地域のグループ会社内会議室	平成26年3月20日(木)	各回150名
時 間	[午前の部] 10:30 ~ 12:00頃 [午後の部] 14:00 ~ 15:30頃		
内 容	テーマ:「内外の経済・金融を展望する」(仮題) 講 師:三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 執行役員調査本部長 五十嵐 敬喜 氏		



2. 応募要領

応募方法: 同封の「MUFG株主セミナー参加申込書」に必要事項をご記入の上、ご投函ください。

締め切り 平成26年1月6日(月)消印有効

ご記入要領

- ご希望の開催日時を選択してください(いずれか一つをお選びください)。
- 株主さまのご住所、お名前(ふりがなを含む)、お電話番号、株主番号(「配当金領収証」または「配当金計算書」の住所氏名欄の下段8桁の番号)をご記入ください。
- ご同伴者さまがいらっしゃる場合は、その方のご住所、お名前(ふりがなを含む)もご記入ください。
- 個人情報保護シールをはがし、折り曲げてしっかりと貼り付けてご投函ください。

抽選の上、当選された株主さまには平成26年2月中旬にご招待状をお送りいたします。

◎ご注意◎

- 当日の受付時刻および場所等の詳細につきましては、当選された株主さまのみにご案内いたします。
- 開催場所までの往復の交通費は各自でご負担いただきます。
- 応募時に必要事項の記入漏れがあった場合には、無効となる可能性がございます。
- やむを得ない理由で中止や内容変更となる場合がございます。

3. 動画配信

左記の経済セミナーの様子を当社ホームページにて公開します。詳細は以下をご覧ください。

|| リンク先情報

当社ホームページ内「動画配信」(<http://www.mufig.jp/investors/movie/>)

|| ID

mufig

|| パスワード

201403

MUFG株主さま向けセミナー開催

平成25年10月に開催した為替相場セミナーおよび経済セミナーに多数のご応募をいただき、誠にありがとうございました。セミナーには合計で1,770名の方々にご来場いただきました。

10月1日、2日、3日(いずれも東京)に開催した為替相場セミナーでは、三菱東京UFJ銀行市場企画部内田チーフアナリストが「為替相場の現状と見通し」と題して講演し、その後、ディーリングルームの見学を行いました。また、8日(東京)、10日(名古屋)、11日(大阪)に開催した経済セミナーでは、三菱UFJリサーチ&コンサルティングの五十嵐執行役員調査本部長が「内外の経済・金融を展望する」と題して講演しました。

終了後のアンケートでは、「あまり見る機会のないディーリングルームを見学できてよかった」「今後も株主セミナーを続けてほしい」などのご意見をいただきました。



経済セミナー



ディーリングルーム見学会

お問い合わせ先: 株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

MUFG株主倶楽部
専用デスク

0120-321-629 (通話料無料)

代表電話

03(3240)8111 (通話料有料)

受付時間: 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00

会社情報 / 株式情報

取締役・監査役 (平成25年9月30日現在)

取締役 会長 (代表取締役)	おきはら たかむね 沖原 隆宗	取締役	とよひづみ としろう 豊泉 俊郎	取締役	かわもと ゆう子 川本 裕子
取締役 副会長 (代表取締役)	わかばやし たつお 若林 辰雄	取締役	おかもと じゅんいち 岡本 純一	常勤監査役	ねもと たけひこ 根本 武彦
取締役 社長 (代表取締役)	ひらの のぶゆき 平野 信行	取締役	あらか きさおさう 荒木 三郎	常勤監査役	みくも たかし 三雲 隆
取締役 副社長 (代表取締役)	たなか まさあき 田中 正明	取締役	のぐち ひさゆき 野口 裕幸	監査役**	おかもと くにえ 岡本 園衛
専務取締役 (代表取締役)	ゆきき たいへい 結城 泰平	取締役	とくもり むねあき 徳成 旨亮	監査役**	いけだ やすし 池田 靖
専務取締役 (代表取締役)	はまかわ いちろう 浜川 一郎	取締役*	あらか りゅうじ 荒木 隆司	監査役**	こじま ひでお 小島 秀雄
常務取締役 (代表取締役)	かがわ あきひろ 加川 明彦	取締役*	わたなべ かずひろ 渡邊 一弘		

* 荒木 隆司、渡邊 一弘の各氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。
** 岡本 園衛、池田 靖、小島 秀雄の各氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

株式事務のご案内

定時株主総会基準日	3月31日
定時株主総会	6月下旬
配当金受領株主確定日	期末配当金 3月31日 / 中間配当金 9月30日
公告掲載方法	当社の公告は電子公告により行っております。 電子公告掲載URL: http://www.mufig.jp/ ただし、やむを得ない事由により、電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
上場証券取引所	東京、名古屋、ニューヨークの各証券取引所
株式事務取扱場所	株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)
	事務取扱場所
	お問い合わせ先・ 郵便物送付先
	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話: 0120-232-711 (通話料無料) (受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)

■ 株式に関する手続き

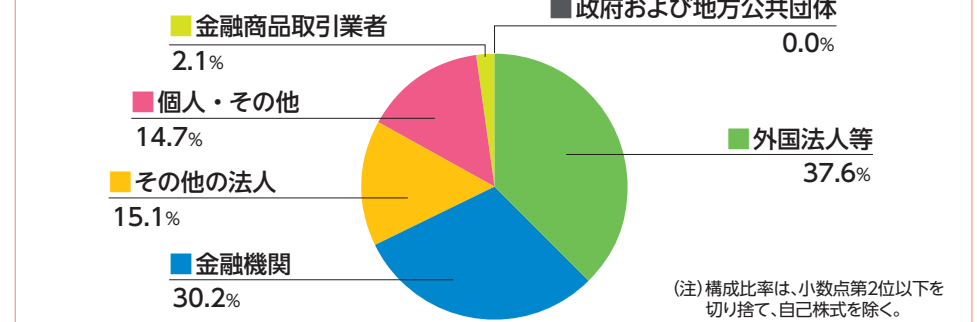
住所・氏名など届出事項の変更、配当金振込先の指定、買取請求その他各種手続き	<ul style="list-style-type: none"> 証券会社の口座に当社株式が記録されている株主さま原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、お取引の証券会社等にお問い合わせください。 特別口座に当社株式が記録されている株主さま上記三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。
未受領配当金の支払	三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いします。

(注) 「特別口座」とは、株券電子化実施までに証券会社等を通じて証券保管振替機構に預託されなかった株式について、平成21年1月の株券電子化制度への移行時に、株主の権利を確保するため、特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)に株主名簿上の株主名義で開設された口座です。

株式の状況 (普通株式) (平成25年9月30日現在)

■ 株式の状況	発行済株式の総数	14,163,760,420 株
	株主数	744,650 名

■ 所有者別分布状況



■ 大株主

	所有株式数(株)	持株比率(%)
1 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	746,887,100	5.27
2 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	594,044,400	4.19
3 ザバンク オブ ニューヨーク トリーティー ジャスデック アカウ (常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行)	314,159,765	2.21
4 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口 9)	275,262,400	1.94
5 ステート ストリート バンク アンドトラスト カンパニー (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	255,423,239	1.80
6 ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウ (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	233,023,797	1.64
7 日本生命保険相互会社	198,137,853	1.39
8 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (明治安田生命保険相互会社・退職給付信託口)	175,000,000	1.23
9 ザバンク オブ ニューヨーク メロン アズ デポジタリー バンク フォー デポジタリー レシート ホルダーズ (常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行)	173,912,668	1.22
10 トヨタ自動車株式会社	149,263,153	1.05
合計	3,115,114,375	21.99
発行済株式総数	14,163,760,420	100.00

(注) 1. 持株比率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
2. ザバンク オブ ニューヨーク メロン アズ デポジタリー バンク フォー デポジタリー レシート ホルダーズは、ADR(米国預託証券)発行のために預託された株式の名義人でありませぬ。

グループメッセージについて

Quality for You

確かなクオリティを、明日へ。世界へ。

「Quality for You」は
『質』の高いサービスの提供を通じて、
お客さま一人ひとりの生活や一社一社の事業の
『質』の向上をお手伝いしたい。
そして『You=お客さま』を基点に『You=地域・社会』の
発展にも貢献していきたい」という
私たちの姿勢を表しています。
「確かなクオリティを、明日へ。世界へ。」は
『いかなる時代にあっても『確かなクオリティ』を
お届けし、お客さまの成長・歩み・夢を、
『明日へ』、『世界へ』つなげていきたい』
という私たちの想いを表しています。

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

〒100-8330 東京都千代田区丸の内2-7-1

電話03(3240)8111(代表)

URL:<http://www.mufg.jp/>

株式に関するお手続きについてご不明な点などございましたら、
以下の株主名簿管理人の連絡先にお問い合わせください。
三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部テレホンセンター
電話:0120-232-711(通話料無料)
(受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)